

# 第3回番組審議会議事録

平成27年7月10日  
(株) あいコムこうか  
番組審議会事務局

1. 開催日時 : 平成27年7月7日(木) 14:00~16:20

2. 開催場所 : 弊社本社5F 会議室

## 3. 出席者

(番組審議会委員(敬称略))

田中 光郎委員

東 輝雄委員

中邨 豊治委員

竹永 豊委員

市井 博委員

和田 久雄委員(甲賀市)

小林 忠委員(甲賀農業協同組合)

(事務局)

中森 武(代表取締役)

中邨 雅明(専務取締役総支配人)

浅井 信夫(放送課)

加納 敦史(放送課)

(オブザーバー)

甲賀市広報課課長 呉竹 弘一氏

甲賀市情報基盤整備推進室 家森 康和氏

## 4. 議事内容

● 前回の議事確認・説明

● 審議事項

1. 新番組「げんきのWA」について

2. EYEこうかNOW金曜版新コーナー「特殊詐欺防止」について

3. 「きらめきこうか」の4月リニューアルについて

4. 番組基準の改正および番組基準に抵触する映像手法を用いた放送実施に関する対応について

## 5. 前回の議事確認・説明

前回の議事録確認、放送番組の編集に関する基本計画(成案)、課題に対する進捗状況および地デジ11chの訴求チラシの配布、平成26年度下期視聴者アンケートの結果、6月からの11ch番組編成の一部変更を事務局より説明

(質疑応答)

- アンケート調査の回答の中で「普通」という回答があるが、「普通」というのはどの様に判断しているのか。今後アンケートを参考にしていくという意味においては、難しい判断となると思う。
  - 満足度の回答として「普通」の意味は満足まではいかない、一方不満でもないという感覚と捉えている。
- アンケートの回答を見て、自分が周囲の人々にヒアリングしている結果と異なる部分があるので、伝えたい。高齢者はテレビを見る時間帯は16:30~20:00もしくは21:00の間。また、見たい番組は自分たちがやっている活動と同じ様な活動を他の地域でやっていればその情報を知りたいということである。若い人たちは基本的にテレビを見ないという人が多い。高齢者が家族と同居している場合、同居家族のテレビ視聴に引っ張れるが、最近では子供がテレビを見てはダメと周りから言われているのか、同居家族と一緒にテレビを見る機会が少ない様である。結果、ある一定時間テレビを見ているという高齢者も少ない。高齢者がテレビを見る時間は夕方ということになるため、夕方に高齢者が見たい番組を作り放送し固定化していくことが大事だと思う。
- 番組審議会の議事録は放送法の中で公表しなければならないとある。公開に関して取締役会等での報告を含め、その様な形で実現するのか。HPでの公開も検討してもらいたい。
  - 取締役会の中で今後、報告していく。HPでの公開も準備が出来次第、対応する。
- 今後、エリア拡大が収束していく中でテレビの解約状況は継続して把握して行って欲しい。
  - 状況の把握は必要であるが、それ以上に具体的な解約防止の方法を他社の例を参考にしながら、弊社の会社規模で出来ることをやっていくつもりである。ある大手ケーブルテレビ会社が調査した結果、解約理由で一番多い理由はテレビのリモコンの使い方が分からないということを知った。リモコンの使い方を分かりやすく説明していく必要もある。
- アンケート結果の中で一番見たい番組は「地域の行事やイベントの話題」とあるが、この点について今までの取材内容以外に今後、どの様に対応していくのか方針を聞きたい。
  - 今まではオープンな情報源を中心に取材対象を決めていたが、取材対象が固定化してきているため、今後は取材範囲を拡げ小さな地域単位の活動取材していきたい。
- 取材の情報源ということ言えば、地域の情報を提供してくれるボランティア的なモニター制度を作ることも良いと思う。一方で待っていても情報は入ってこないため、自治振興会に積極的にアプローチし情報をとってくるのが大事。
- サブチャンネルである112chの訴求であるが、高齢者に対して分かりやすく伝えるにはテレビを通じて動画で説明した方が効果的と思う。
  - その通りであり、テレビを通じて訴求していくこととする。
- 前回の審議会で伝えたが、動画CMを増やすべきであるが、まだ、増えていない。引き続き取組をしてほしい。

## 6. 審議事項

### 6-1 審議事項1~3新番組、新コーナーおよびリニューアル

事務局より資料に基づき、説明すると共に番組を審議員に視聴いただいた。

(意見)

- 新番組「げんきのWA」はインタビューに答える人が1人に集中していた様に感じた。1人に集中するのではなく、出来る限り多くの人にインタビューした方が関心を持つと思う。

- 新番組「げんきのWA」は地域の人々が出演していくスタイルであり、見る側も親近感が湧き近所の方々が声をかけある様な番組と感じた。ただし、出演者は素人であるため演出は出来ないため、同じ様な話口調が続くと見ている側は飽きてくるため、テロップ等でフォローしていけば若い人から高齢者まで受け入れられていくと思う。
- 新番組「げんきのWA」の中で出演者に聞いている「げんきの源」は、途中で番組を見る人が分かりやすい様に画面の隅に「げんきの源」の文字等を入れた方がよい。
- 新番組「げんきのWA」の構成で子供と大人が出てくる場面は子供の次は大人その次は子供と交互に出演する構成にすると見たいという意欲が湧くと思う。また、番組も子供中心の出演であった場合は、次は大人中心の出演という編成にしても面白いと思う。
- 番組と連動する文字情報をデータ放送と連動させると便利だと思う。
- 新しいことをやっていくことは良いことだと思うため、これからも挑戦するスタイルを大事にしてほしい。
- 以前、EYEこうかNOWの番組のコーナーで1つの商業施設でロケを行い放送していたが、その施設がスポンサーでなければ、今後は避けた方がよい。

6-2 審議事項4 放送番組基準の変更および番組基準に抵触する映像手法を用いた放送実施への再発対応  
事務局より資料に基づき、番組基準の改定については、今までの基準の各項目を細分化すると共に、アニメーション等の映像手法に関するガイドラインをセットにした点を説明。また、昨年12月にスペースシャワーネットワークから提供されている「スペースシャワーTV」の一部で「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」に抵触するおそれのある映像手法が用いられていたことに対し、再発防止策について説明。

(意見)

- 今回の改定で各項目が細分化されたため、依然より曖昧さがなくなり、色々な解釈をしにくくなり良くなった。

以 上